

子どもの生活

この章では、文部科学省の「全国学力・学習状況調査」結果を中心に、三重県の子どもたちの生活状況をみます。

家庭生活では、「朝食の摂取」、「起床・就寝時刻、睡眠時間」など多くの項目で、三重県の子どもたちの調査結果は全国平均と同じような状況を示していますが、テレビ等を4時間以上視聴する小学生は4人に1人、中学生で5人に1人に上り、ゲームに費やす時間とともに全国と比べてやや多いといった傾向がみられます。

学校生活では、大半の子どもが学校で友だちに会うのを楽しんでいると思っています。全国と比較してより積極的に授業や学級活動に参加している様子が見られます。

三重県の中学生の携帯電話の所持率は約70%で全国の58%を大きく上回っています。インターネットの利用についても全国に比べて多いといえます。

学習塾に通う子どもは、全国と比べ多くなっています。

1 節 子どもと家庭

(1) 朝食の摂取

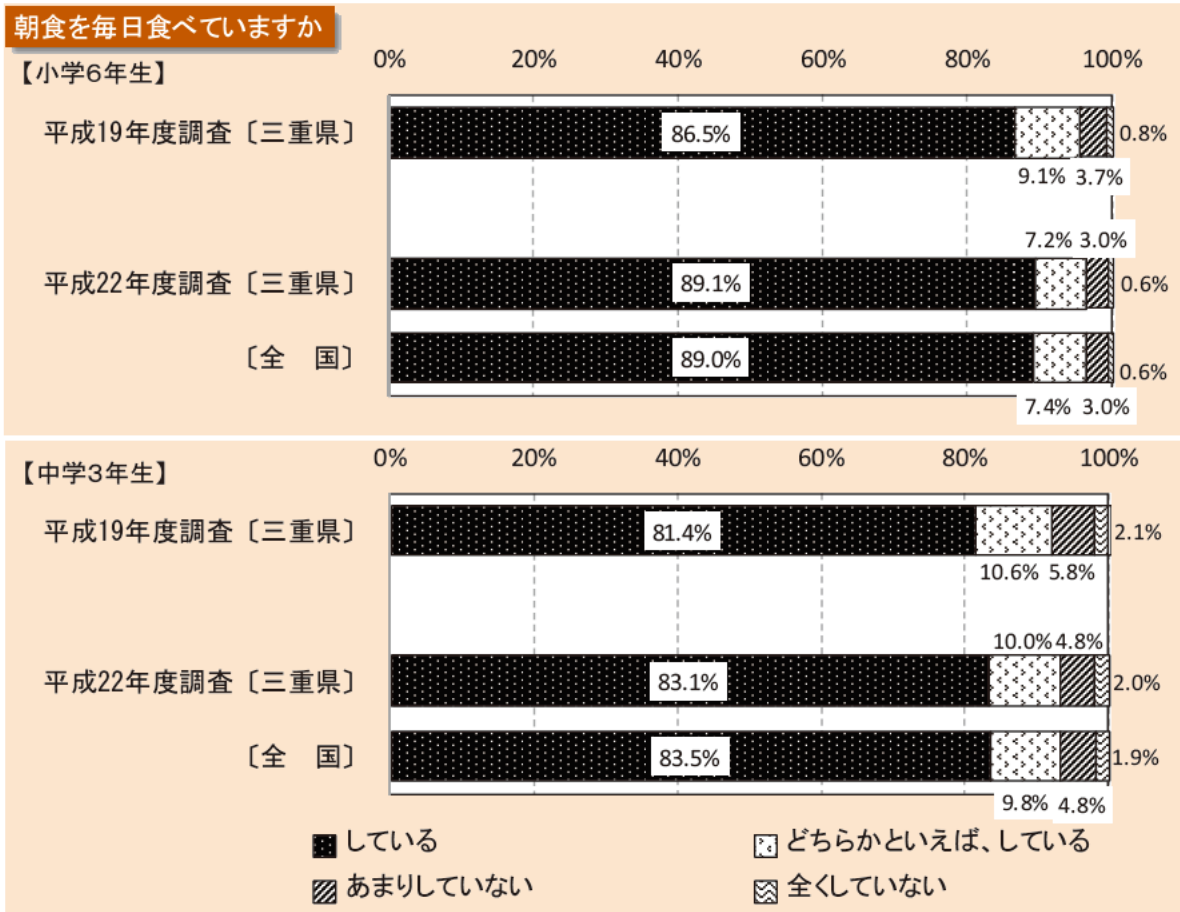
8 割を超える子どもが毎日朝食を食べている

文部科学省「全国学力・学習状況調査」によると、小学生（小学6年生、以下同）の90%近く、中学生（中学3年生、以下同）でも80%以上が「毎日朝食を食べている」と

答えています。

また、毎日朝食を食べている子どもの割合は増える傾向にあり、こうした傾向は全国でも同様です。

図1-1 朝食の摂取状況



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

注：「全国学力・学習状況調査」について

- ・「全国学力・学習状況調査」は、平成19年度から毎年実施されてきたが、平成23年度は東日本大震災等の影響により実施されていない。また、平成19年度から21年度までは悉皆調査、平成22年度は抽出調査として実施されている。
- ・設問によっては、毎年実施していないものがあるため、脚注にて記載した。
- ・集計結果には「その他」、「無回答」の区分があるが、本書ではその数値を記載していないため、標記されている数字の合計が100%にならない場合がある。
- ・本書では、三重県と全国とを比較するため、公立学校の結果を掲載している。

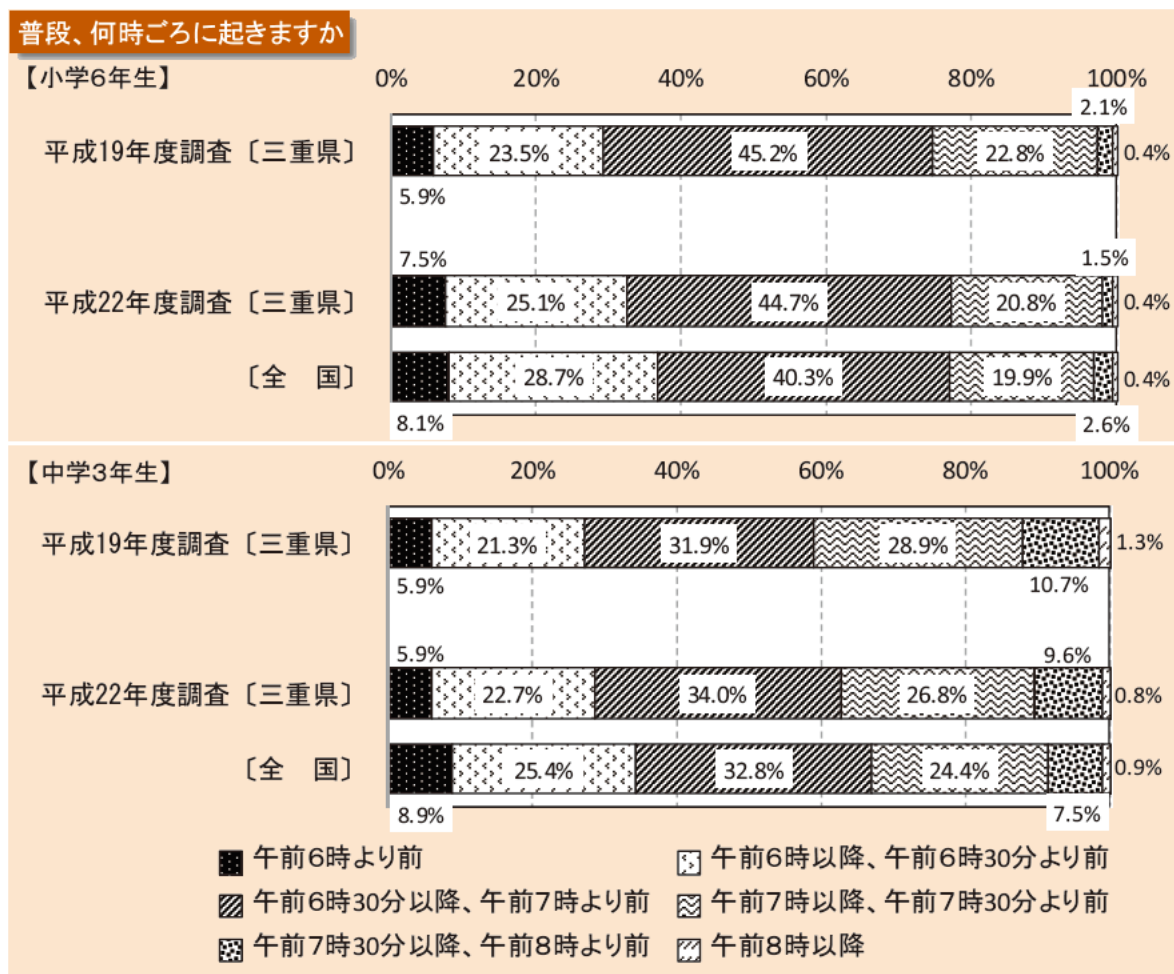
(2) 起床・就寝時刻、睡眠時間

朝7時前に起きる子どもは小学生で8割近く、中学生では6割強

普段(月～金曜日)の起床時刻については、「午前6時30分以降、午前7時より前」が小学生で40%以上、中学生でも30%以上と

最も多くなっています。中学生は、小学生に比べると午前7時以降に起きるという回答が多くなっています。

図1-2 起床時刻



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

**午後10時前に就寝する小学生は約4割、
中学生では7割近くが午後11時以降**

普段（月～金曜日）の就寝時刻について、午後10時前に寝る小学生は40%を超えています。時間帯としては「午後10時以降、午後11時より前」が最も多く40%近くになっています。

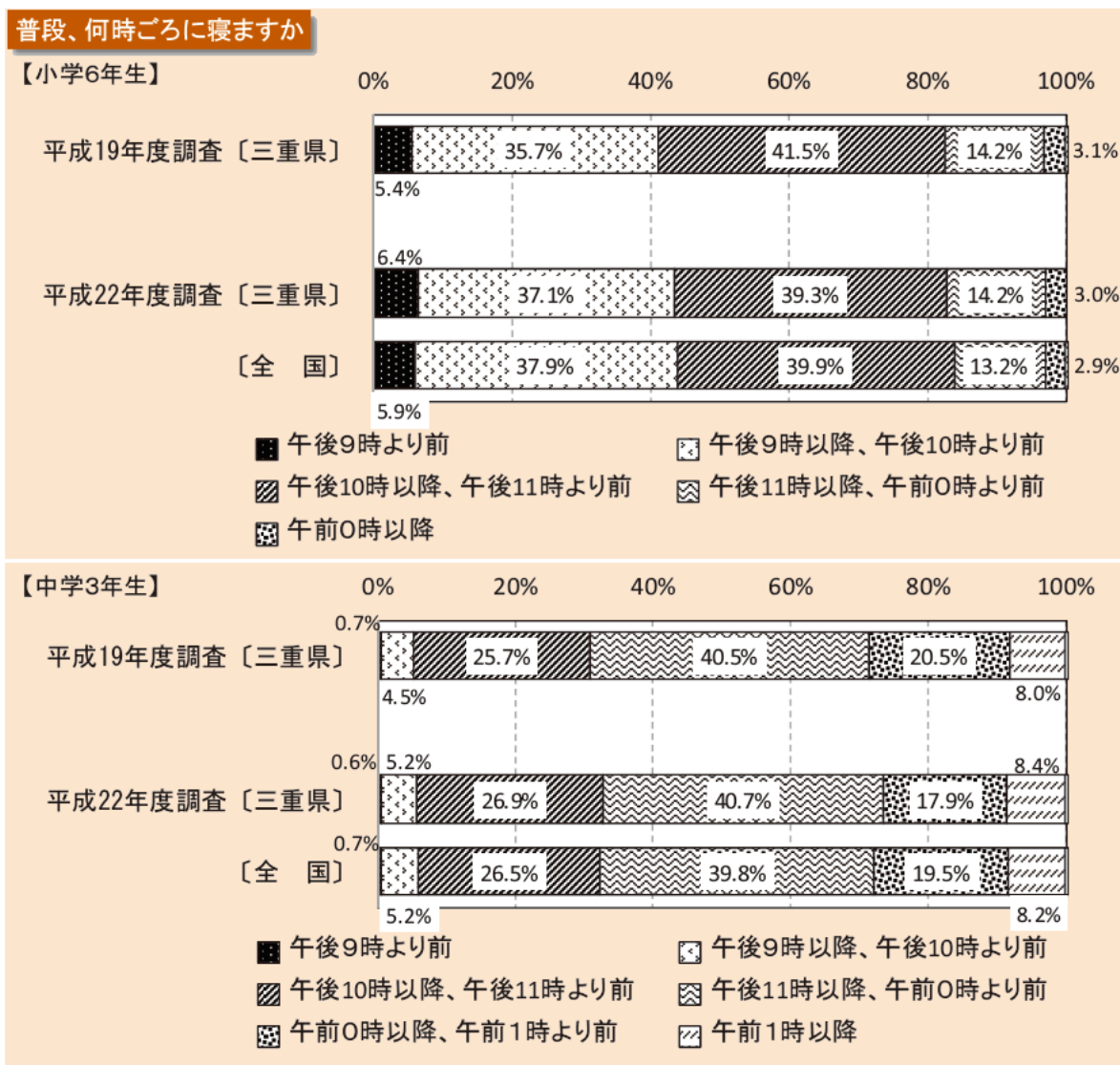
一方、中学生では、「午後11時以降、午前

0時より前」が約40%と最も多く、それ以降の時間を合わせると70%近くになります。

就寝時刻が午前1時以降と答えた中学生が8%強に上ります。

就寝時刻については、三重県と全国との差はほとんどないといえます。

図1-3 就寝時刻



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

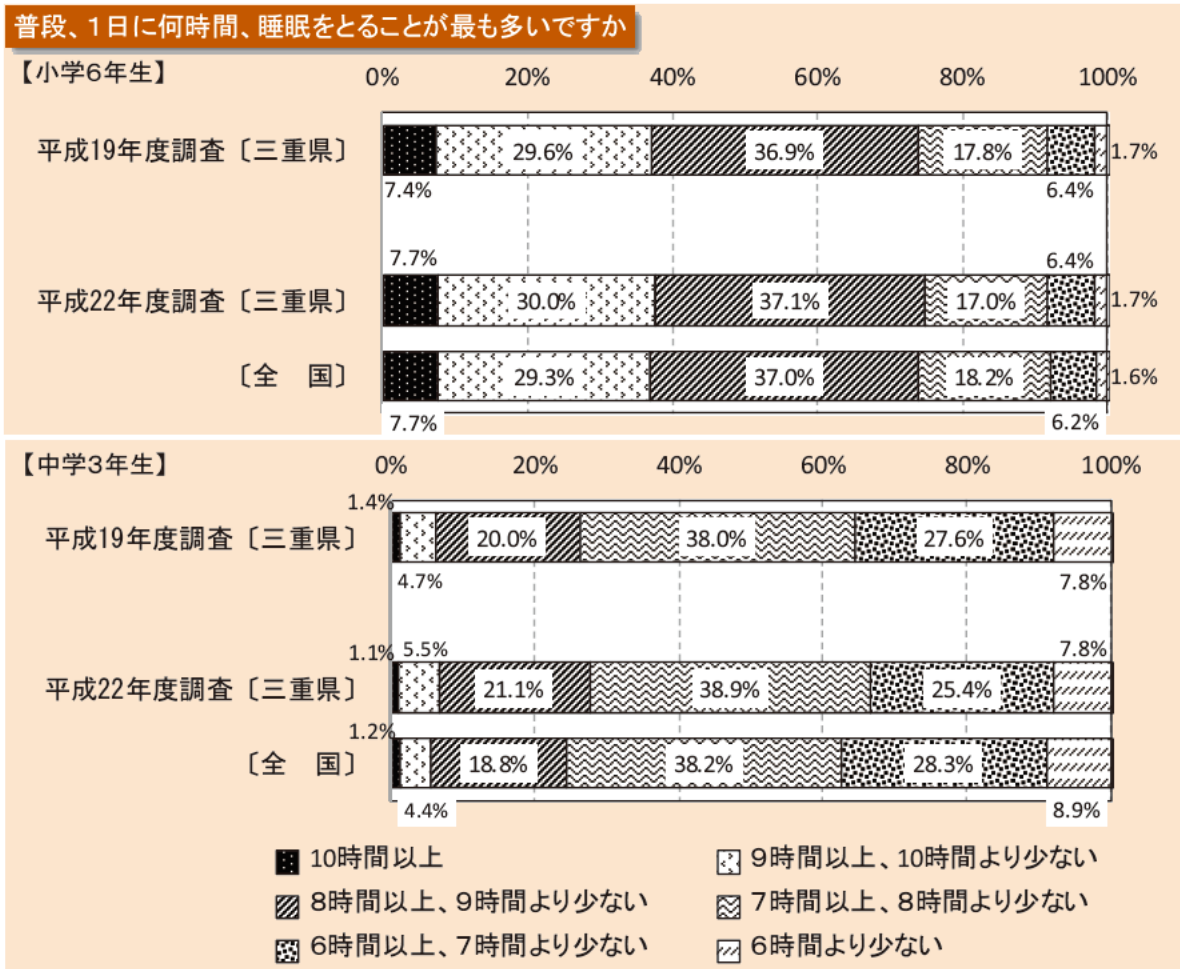
睡眠時間が8時間以上の子どもは、小学生で7割以上、中学生では3割弱

普段（月～金曜日）、1日あたりの睡眠時間について、小学生では70%以上の子どもが8時間以上の睡眠をとっています。中学生では、睡眠時間が8時間未満の子どもが70%

以上を占めています。

小学生では、三重県と全国との差はあまりありませんが、中学生では、三重県の子どもの方が全国よりもやや睡眠時間が長い傾向にあるといえます。

図1-4 睡眠時間



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

(3) 家庭での学習の状況

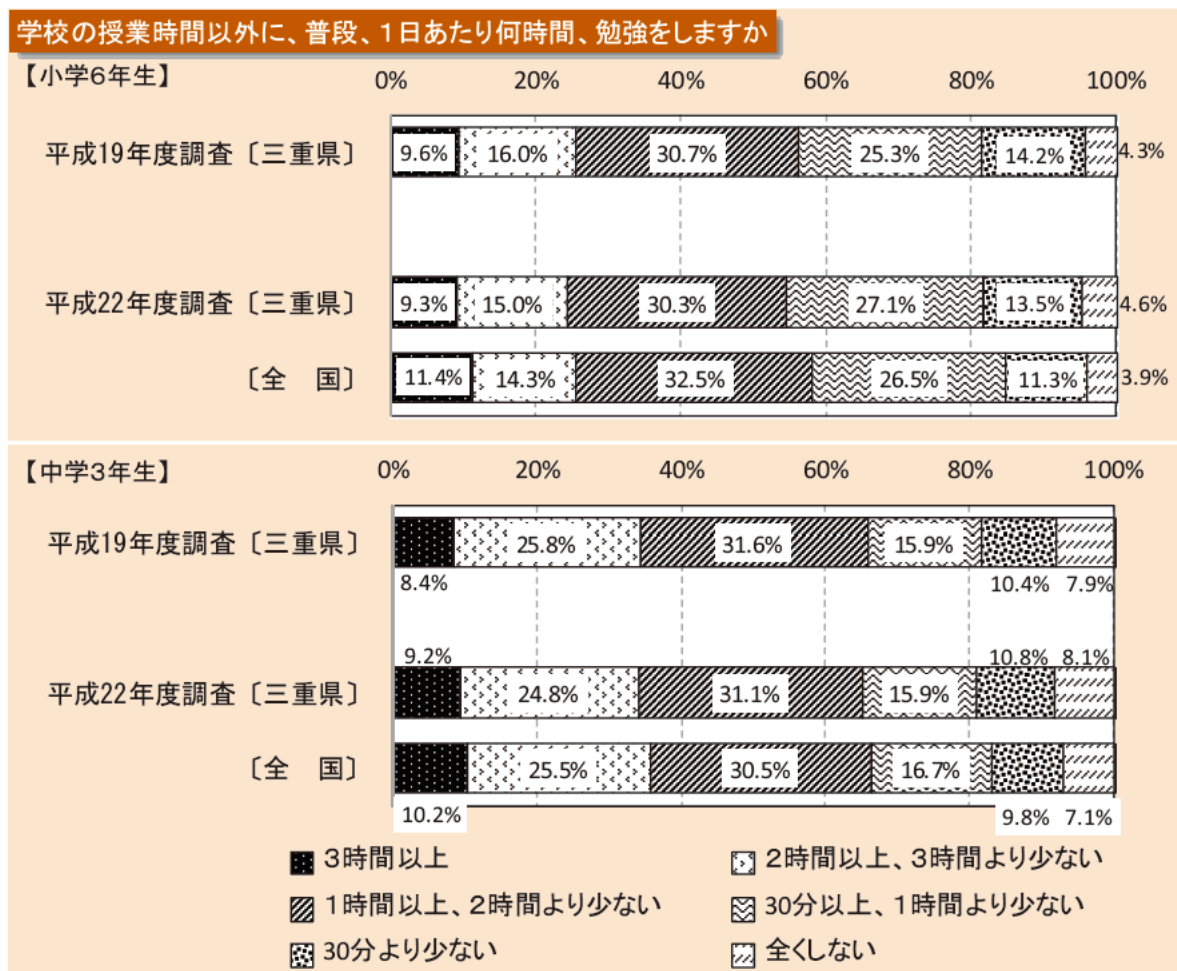
家庭などでの学習時間が3時間以上の小学生が1割近くいる一方、全くしないという中学生は8%を超える

学校の授業時間以外での、普段（月～金曜日）の学習時間については、小学生、中学生とも「1時間以上、2時間より少ない」という子どもが約30%で最も多くなっています。

中学生では、「2時間以上、3時間より少ない」という子どもが約25%で続きます。

三重県の小・中学生は、全国に比べて家庭などで勉強する時間がやや少なめであるといえます。

図1-5 家での勉強時間



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

(4) 家庭での時間の使い方

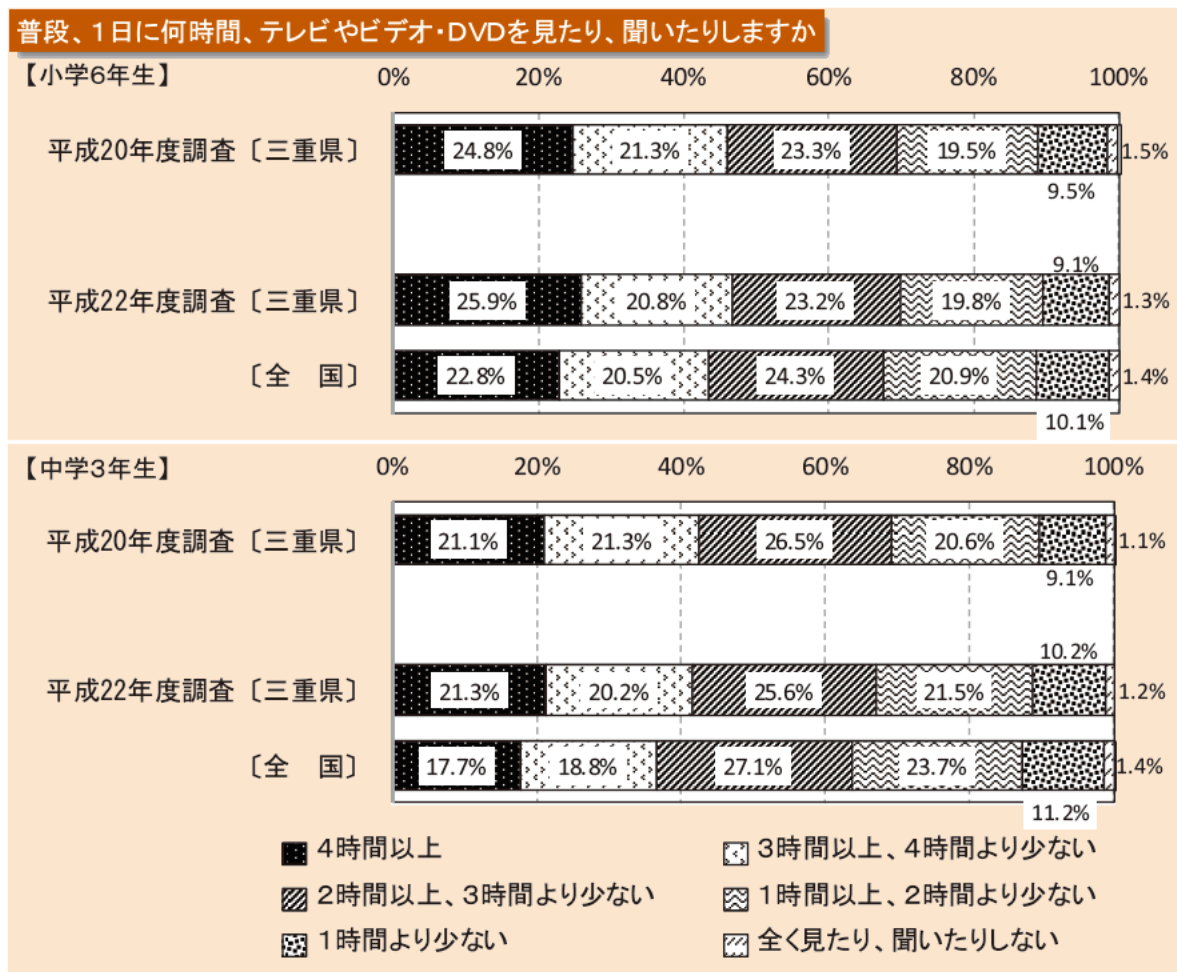
「4時間以上」テレビを見ている小学生は4人に1人、中学生は5人に1人と、全国と比べて多い

普段（月～金曜日）、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間については、小学生、中学生とも、各時間帯に分布しました。

4時間以上という子どもも多く、実質的に家庭で過ごす時間を考えると、かなり長い時間をテレビなどに費やしているといえます。

三重県の小・中学生は、全国に比べると、テレビなどに費やす時間がやや多い傾向がみられます。

図1-6 テレビ等の鑑賞



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

注：この問いは平成19年度調査と平成20年度以降の調査で選択肢の順序が異なるため、平成20年度調査と平成22年度調査の比較としている。

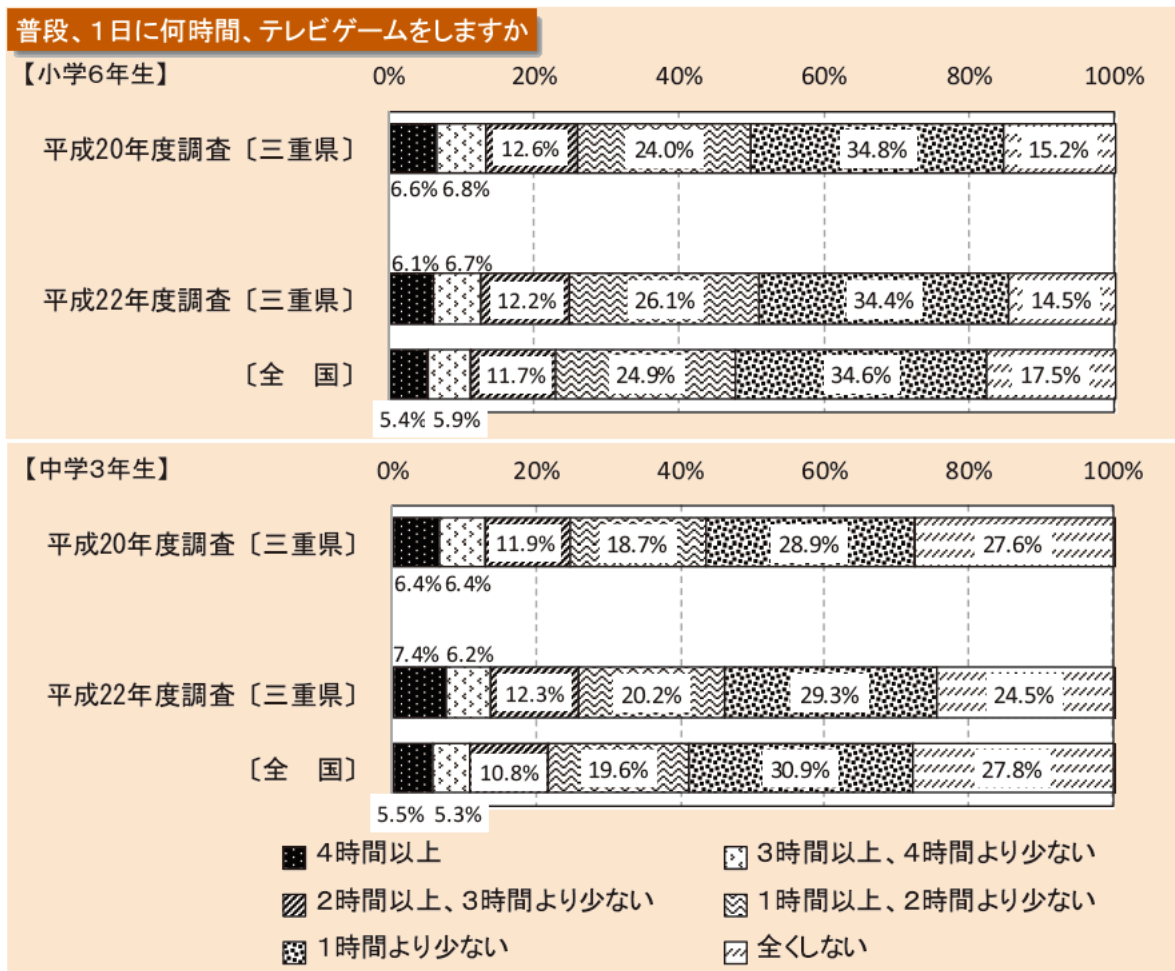
2時間以上ゲームに費やしているのは、小・中学生とも4人に1人と、全国と比べてやや多い

普段（月～金曜日）、テレビゲームに費やす時間は、小学生、中学生とも「1時間より少ない」が最も多くなっています。小学生では「1時間以上、2時間より少ない」が続き

ますが、中学生では、「全くしない」が約25%と多くなっています。

三重県の小・中学生は、全国に比べると、テレビゲームに費やす時間がやや多い傾向がみられます。

図1-7 テレビゲームの時間



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

注：この問いは平成19年度調査では「テレビゲーム」と「インターネット」を合わせて聞いていたため、平成20年度調査と平成22年度調査との比較をみることにした。

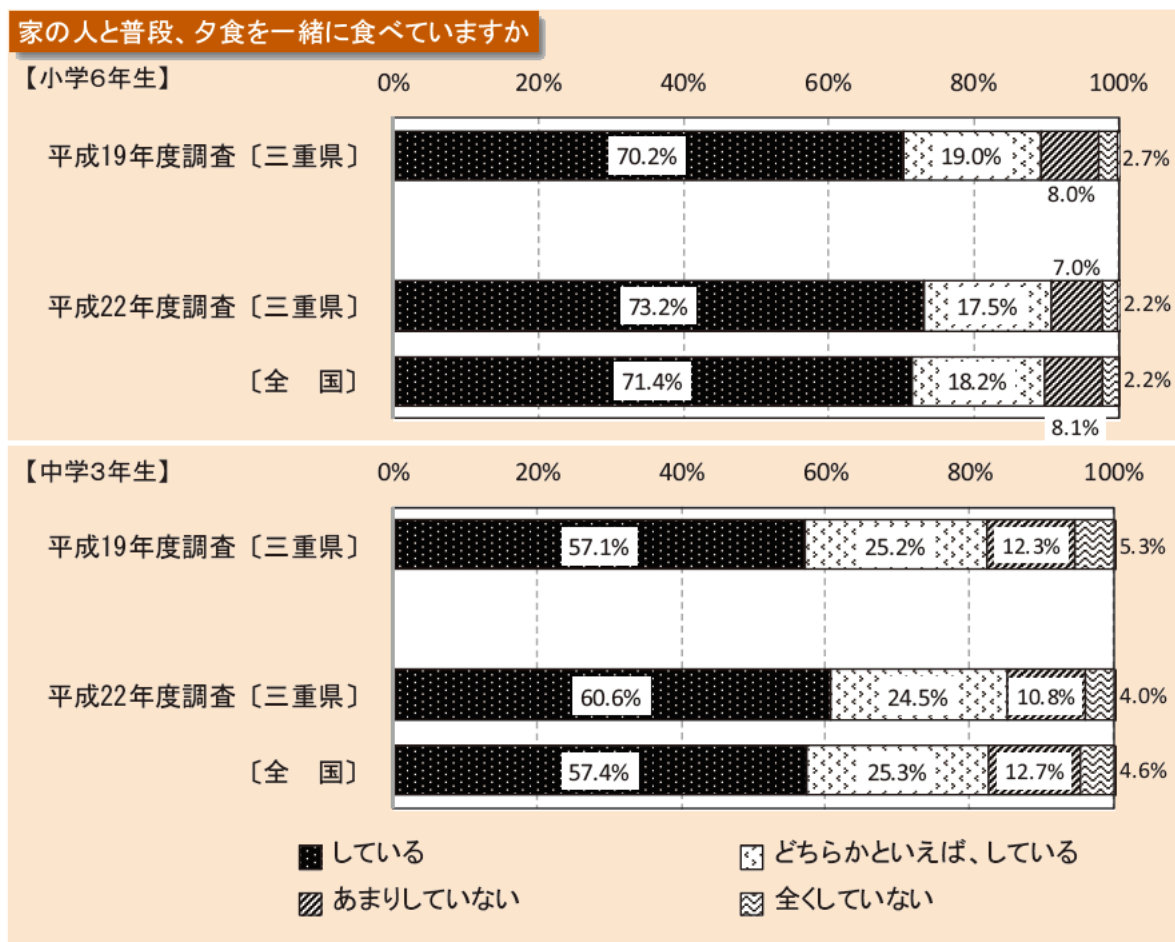
(5) コミュニケーション

8割～9割の子どもが家族と夕食をとっている

普段（月～金曜日）、小学生の約90%、中学生の80%以上が「家の人と夕食を食べている・どちらかといえば食べている」と答えています。

「食べていない・どちらかといえば食べていない」という小学生は10%、中学生は15%です。三重県では、全国に比べて家族と夕食をとる子どもがやや多いという傾向がみられます。

図1-8 家族との夕食



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

学校での出来事について家族に話す子どもが増えている

小学生の70%以上、中学生の60%以上が「家の人と学校での出来事を話す・どちらかといえば話す」と答えています。

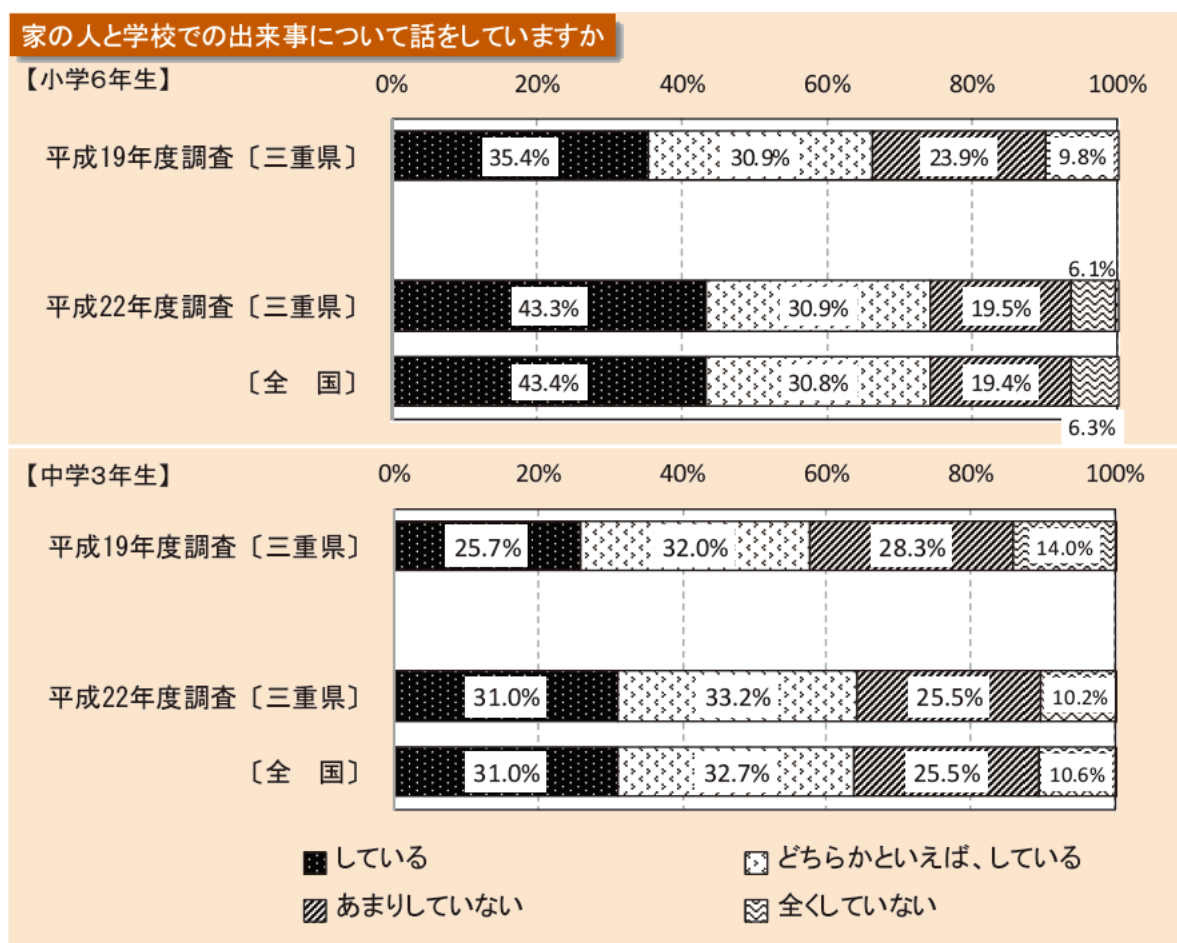
小学生、中学生ともに家族と会話をする子

どもが増えているという傾向がみられます。

しかし、一方で、家族との会話を「全くしていない」という子どもも多く、小学生の約6%、中学生の約10%を占めています。

これらの傾向は、全国結果でも同様です。

図1-9 学校での出来事についての家族との会話



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

(6) 家での役割

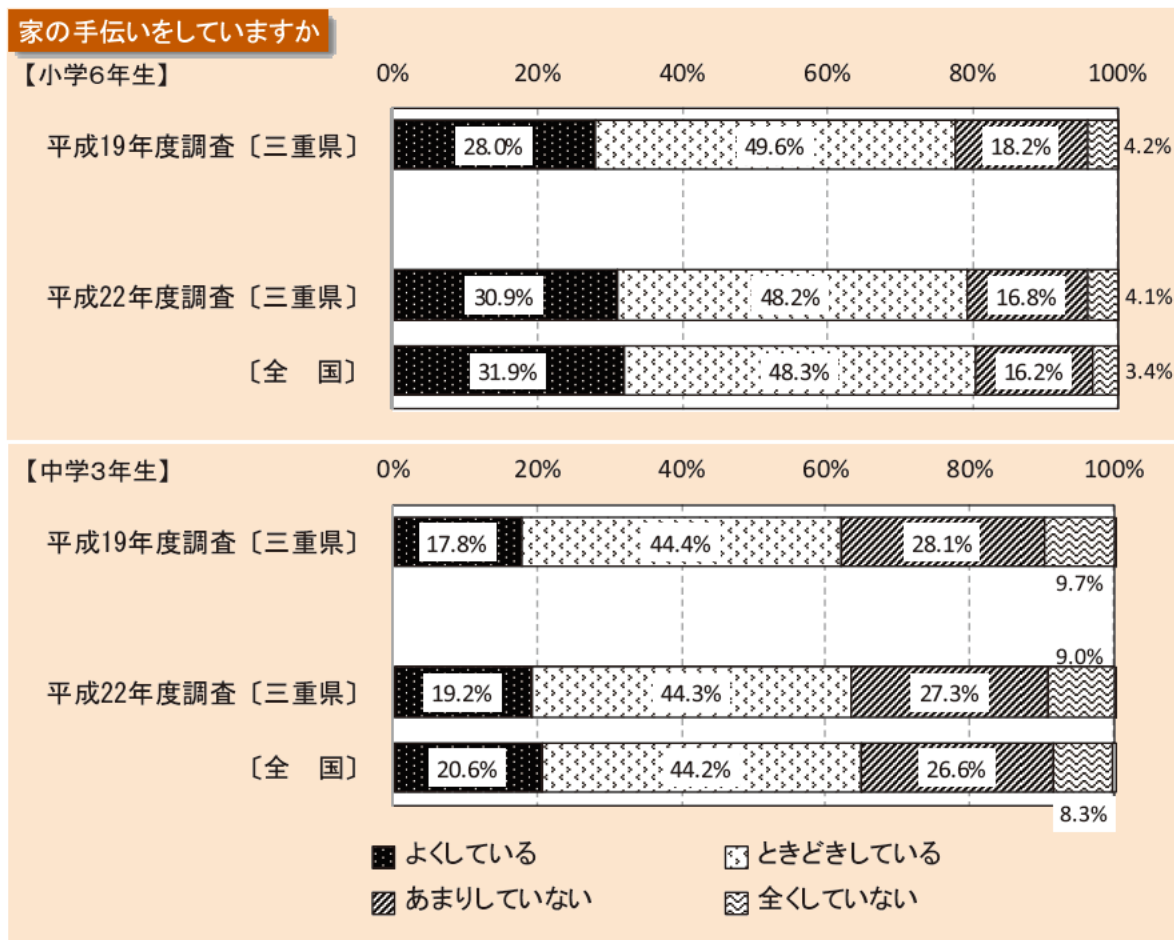
手伝いをする子どもが増えている

家の手伝いをする子どもが、小学生で80%近く、中学生でも60%を超えています。

小学生、中学生ともに、手伝いをする子どもが増えているという傾向がみられます。

しかし、一方で、手伝いを「全くしない」という子どもも、小学生で約4%、中学生で9%あり、これらの傾向は、全国結果でも同様です。

図1-10 家での手伝い



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

2節 子どもと学校

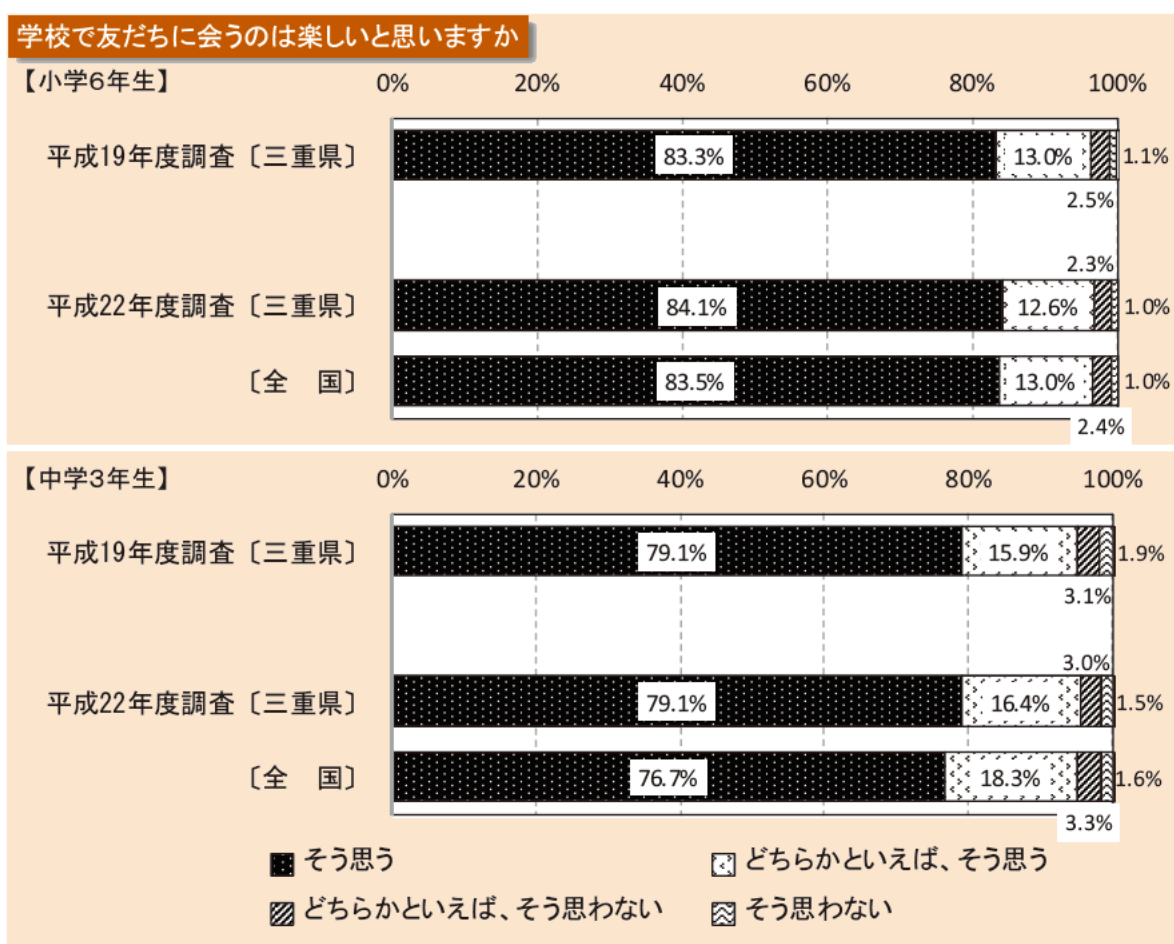
(1) 学校生活

大半の子どもは学校で友だちに会うのを楽しみにしている

小学生、中学生とも、95%以上の子どもが「学校で友だちに会うのが楽しい・どちらかといえば楽しい」と答えています。

一方で、小学生の3.3%、中学生の4.5%が、「友だちに会うのが楽しくない・どちらかといえば楽しくない」と答えています。

図1-11 学校で友だちに会うこと



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

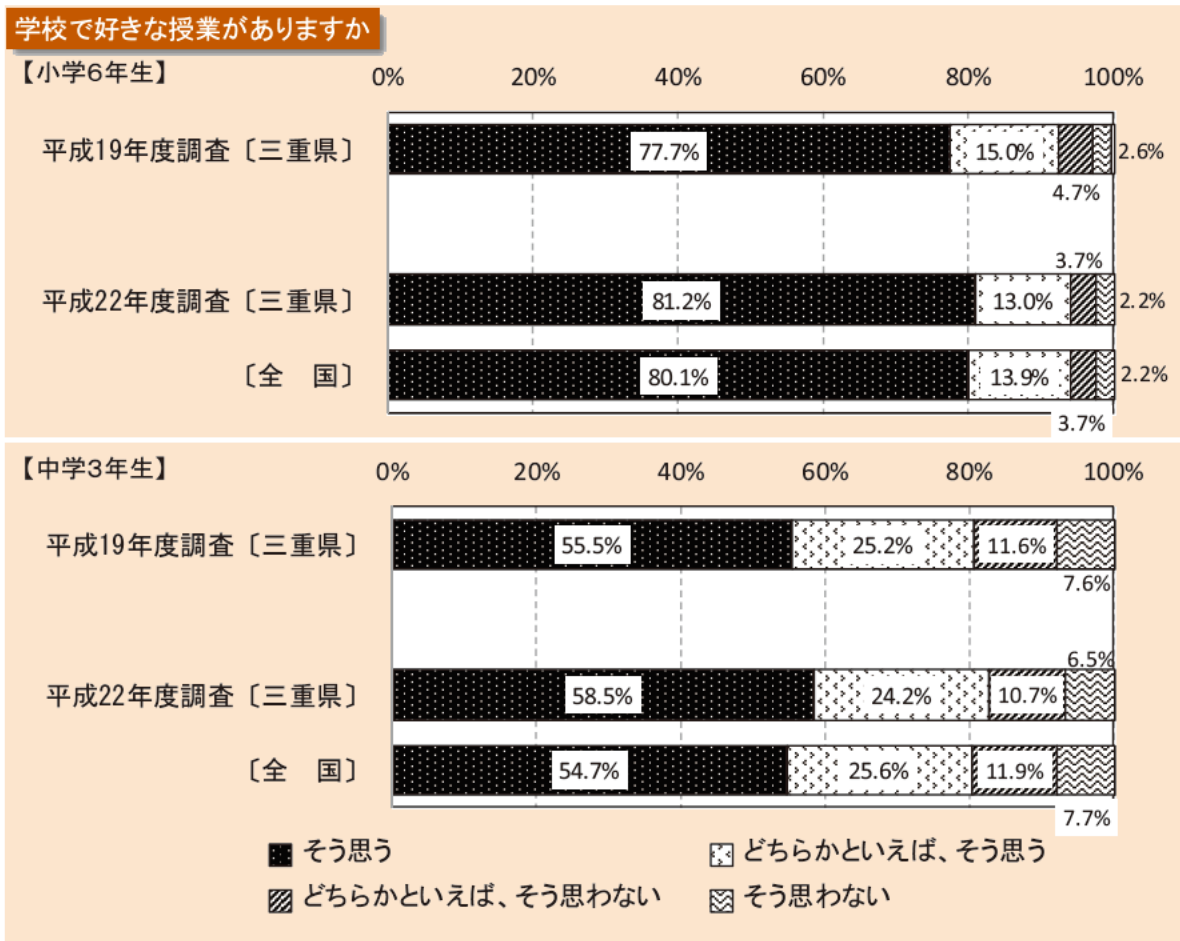
好きな授業がある子どもが多い

小学生の95%近く、中学生の80%以上が「学校で好きな授業がある・どちらかといえばある」と答えています。

小学生では「好きな授業がない・どちらか

といえない」という回答が約6%ですが、中学生では約17%と増えており、学年が上がると好きな授業のある子どもが減っていくという傾向がみられます。

図1-12 好きな授業



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

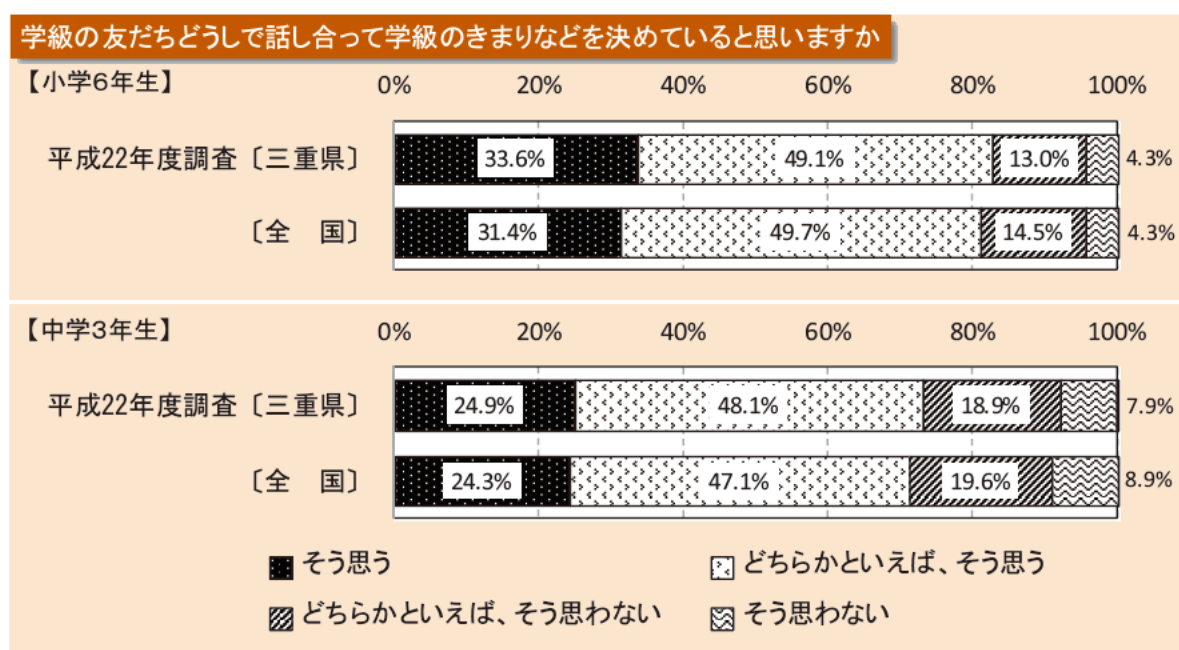
学級のきまりなどについて、子どもたちが話し合うことは多いが、中学生では減少する

「学級のきまりなどを学級の友だちどうしで話し合っている・どちらかといえばそうしている」と思う子どもは、小学生で80%以上、中学生では70%以上になっています。

しかしながら、中学生では約27%が「そう思わない・どちらかといえばそう思わない」と答えており、中学生になると話し合う機会が少なくなる傾向にあることがうかがえます。

三重県は全国結果に比べて、やや学級での話し合いが多い傾向がみられます。

図1-13 話し合いによる学級のきまりなど



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

注：この問いは平成22年度調査のみで実施された。

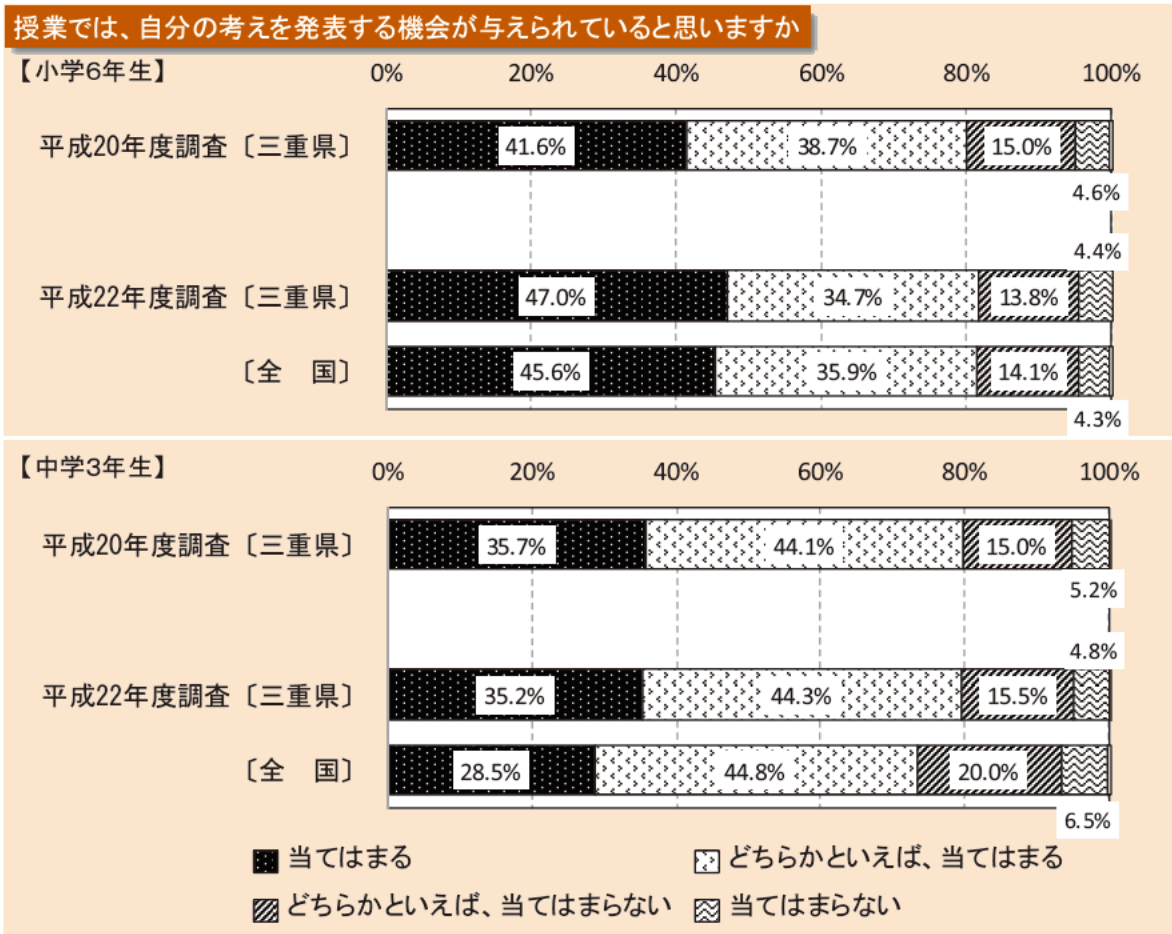
授業における意見発表の機会が多い

小学生、中学生とも約 80%が「普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思う・どちらかといえば思う」と答

えています。

特に中学生では、全国と比較して意見発表の機会が多い状況がみられます。

図 1-14 授業における意見発表



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

注：この問いは平成20年度調査から実施された。

3節 子どもと社会

(1) 自由な時間の過ごし方

小・中・高校生とも「友だちと遊んでいる」がトップ

「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査（小・中・高校生対象）」（以下、「条例・子ども調査」という。）の結果をみると、「自分の自由な時間の過ごし方」として、小学生、中学生、高校生のいずれも「友だちと遊んで

いる」が一番多く、50%を超えています。

小学生で多い、スポーツ、習いごとなどの活動は年齢が上がるにつれて割合が減少し、代わって中学生、高校生では「特に何もせずゆっくりしている」といった回答が増えています。

図1-15 自由時間の過ごし方（複数回答・いくつでも）

	小学 5年生	中学 2年生	高校 2年生	子ども 全体	
自分の自由になる時間をどのように過ごしていますか	友だちと遊んでいる	68.0%	60.2%	55.4%	61.4%
	特に何もせずゆっくりしている	29.0%	46.0%	47.8%	40.7%
	読書などをしてゆっくり過ごしている	29.5%	31.7%	26.4%	29.2%
	スポーツをしている	35.0%	29.7%	17.9%	27.8%
	習いごとなどをしている	36.0%	17.9%	5.9%	20.3%
	好きなことについて勉強している	10.0%	12.6%	13.7%	12.1%
	ボランティアなど地域で活動している	1.0%	0.7%	1.2%	1.0%
	その他	19.9%	17.2%	14.5%	17.3%
	自由になる時間がない	2.3%	1.8%	3.4%	2.5%

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

注：数字の網掛けは、学年ごとの上位3項目を表す。

(2) 学習塾への通塾状況

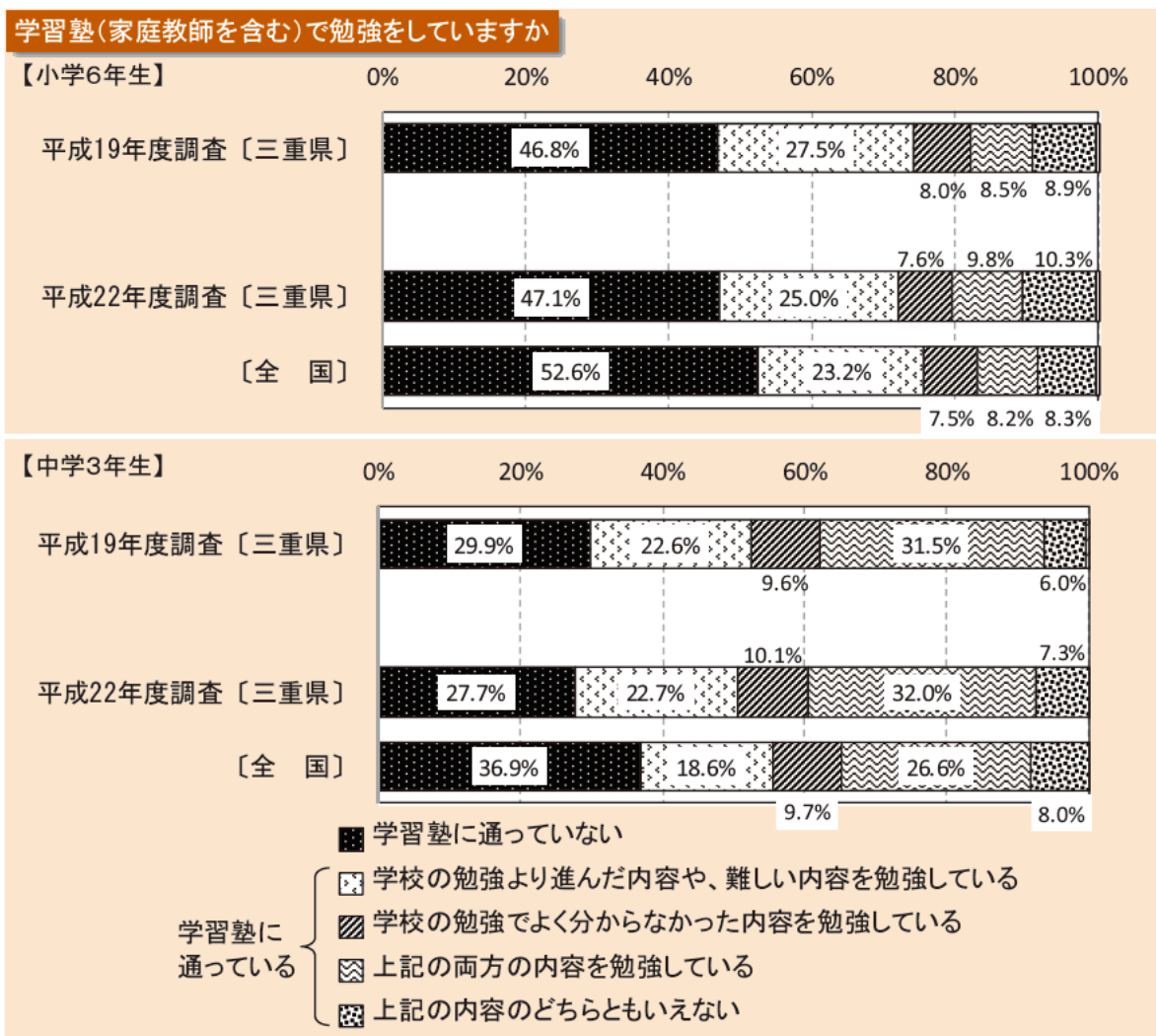
三重県の子どもは通塾率が高い

小学生の50%以上、中学生の70%以上が学習塾で勉強していると回答しています。

三重県と全国とを比較してみると、学習塾

で勉強している三重県の子どもの割合は、小学生、中学生ともに大きくなっています。

図1-16 学習塾への通塾



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

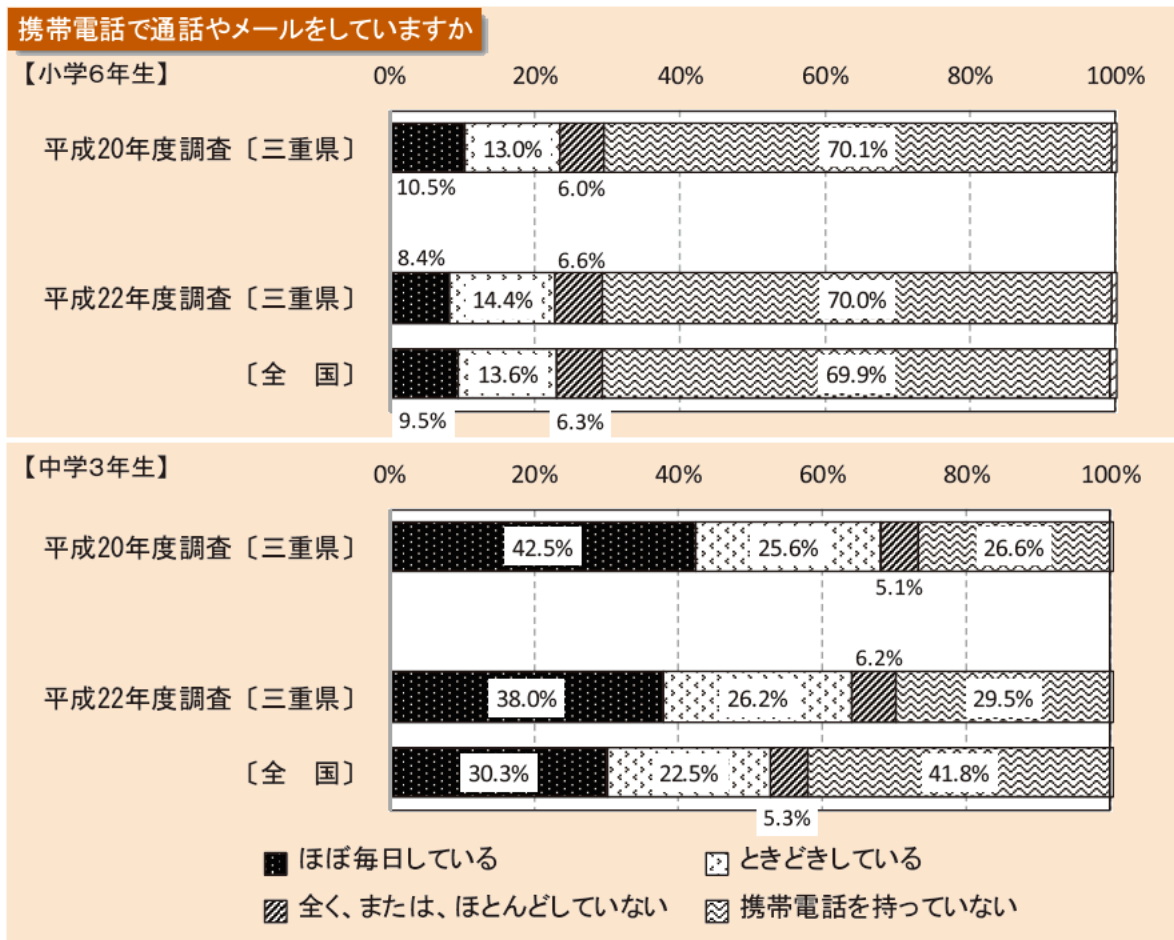
(3) 携帯電話、インターネットの利用

三重県では、携帯電話を使っている中学生が多い

三重県では、小学生の30%、中学生の70%以上が携帯電話を持っており、使用する頻度も中学生になると大きく増えています。

また、全国との比較でも、小学生の状況にはほとんど差がみられませんが、中学生では携帯電話を使っている割合が全国平均を大きく上回っています。

図1-17 携帯電話の利用



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

注：この問いは平成19年度調査と平成20年度以降の調査で選択肢の順序が異なるため、平成20年度調査と平成22年度調査との比較をみることにした。

三重県ではインターネットを使う子どもがやや多く利用時間も長い

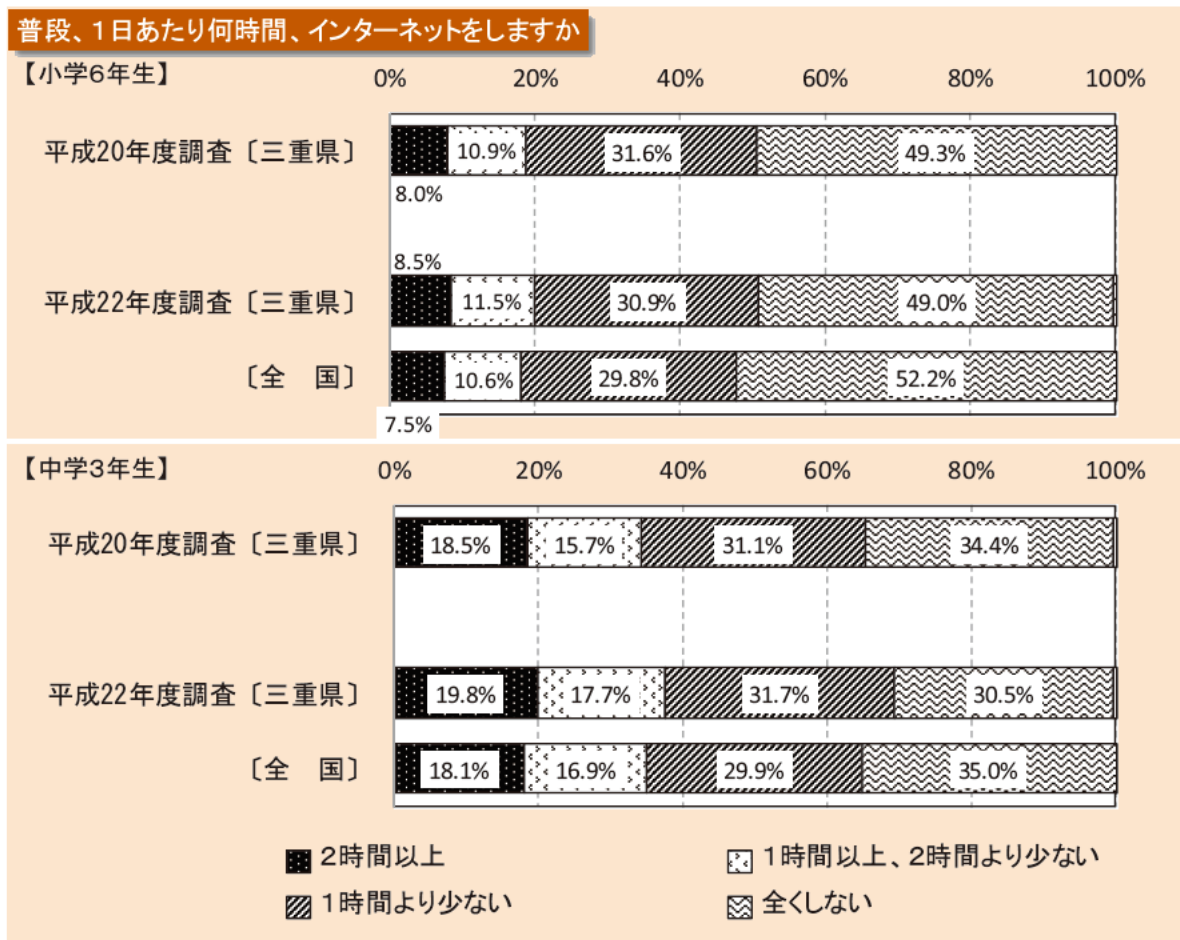
インターネットについて、小学生で約50%、中学生で約70%が使用しています。

また、使用する子どもの、普段（月～金曜日）の使用時間は、小学生の約8%、中学生

の約20%が「2時間以上」となっています。

全国との比較で、三重県では、インターネットをする子どもが小学生・中学生ともやや多く、利用時間も長くなっています。

図1-18 インターネットの利用



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

注：この問いは平成19年度調査では「テレビゲーム」と「インターネット」を合わせて聞いていたため、平成20年度調査と平成22年度調査との比較をみることにした。

(4) 新聞やニュースへの関心

60%の子どもが新聞やニュースなどに関心を持っている

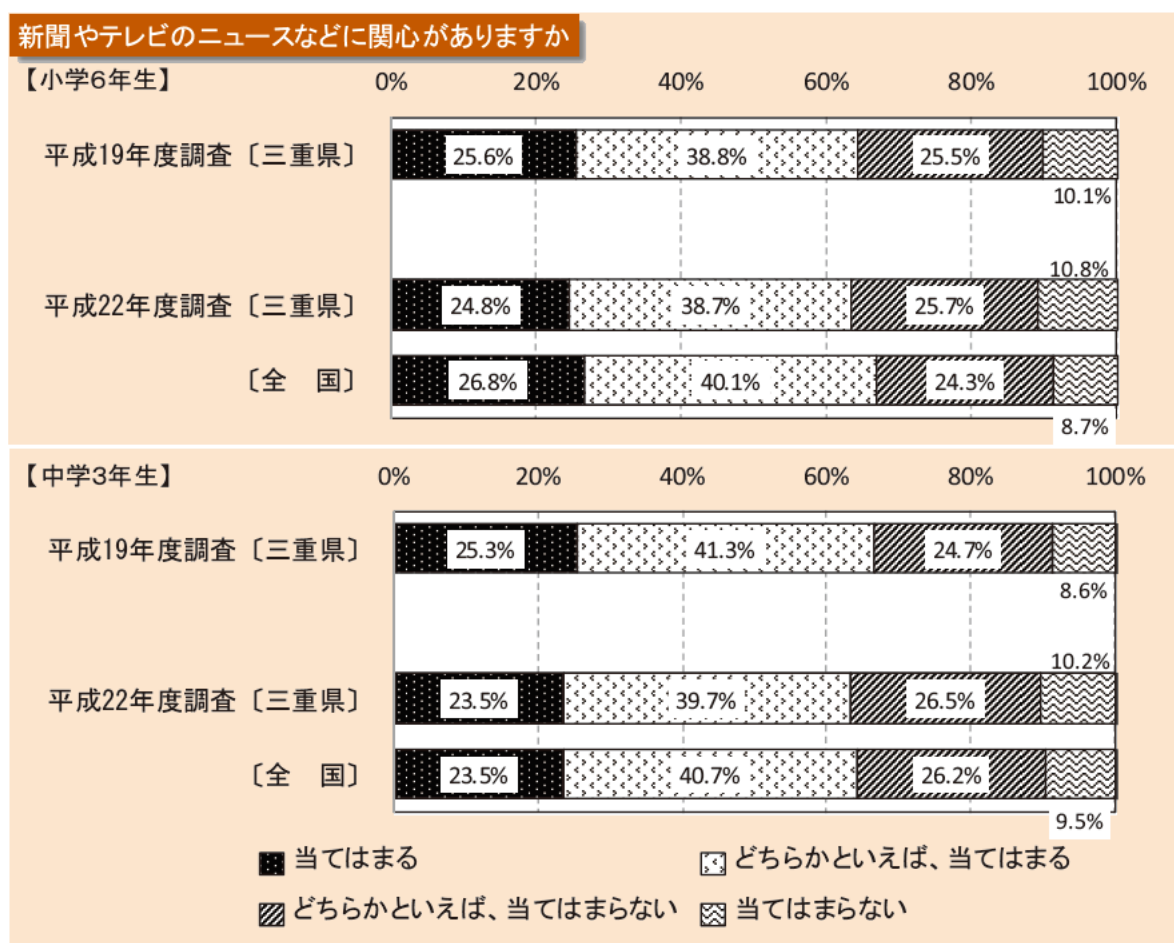
新聞やテレビのニュースなどには、小学生、中学生とも 60%以上が関心があると答えています。

しかし、小学生と中学生との結果にほとん

ど差がみられず、中学生になっても、社会への関心度合いがあまり高まっていないことがうかがえます。

三重県と全国との比較でも、大きな差はありません。

図1-19 ニュースなどへの関心



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」